

グループシナジーを生かしたアセアンコールドチェーン構築へ ～ ベトナム国内でのコールド混載輸送サービスを開始 ～

SG ホールディングスグループのグローバル物流事業を担う SGH グローバル・ジャパン株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：三古 健二）のベトナム現地法人である SG 佐川ベトナム（以下、佐川ベトナム）は、アセアン地域でのコールドチェーン※¹（低温物流）拡大に向け、ネットワーク構築を進めています。その第一歩として、昨年グループ入りした名糖運輸の子会社であるメイトウベトナムと連携し、ホーチミン・ハノイ間の南北コールド混載輸送※²（中部ダナン経由）サービスを 2025 年 4 月より開始します。



ベトナムでの南北コールド混載輸送のエリア

■サービス新設の背景と狙い

近年、アセアンでは、所得の向上に伴い食生活が多様化し、コールドチェーンの需要が高まっています。ベトナムは、南北に約 1,800 km の距離があり、各地域で異なる気候を有し特色ある製品があります。南北間への輸送に強みのある佐川ベトナムと低温輸送・管理に強みのあるメイトウベトナムが連携することで、各地域の特色ある産品をタイムリーに、より多くの方々へお届けすることが可能となります。

将来的には、日本からの食品輸出のインフラに資するサービスとして運用していきます。

■サービス概要

ホーチミンを出発後、ダナンを経由し、ハノイまで片道約 1,800km を約 48 時間で接続します。

常温貨物と混載することで、多様な冷凍・冷蔵貨物を、お客さまが利用しやすい価格でお届けできます。



サービスフロー

■サービスにおける効果

アセアン諸国におけるコールドチェーンの需要の高まりに応え、冷凍・冷蔵・小口輸送のビジネスモデルを構築し、アセアン地域で競争力のあるサービスが提供可能となります。また、食料品に加え、医薬品の輸送にも活用しお客さまの多様なニーズにお応えします。ベトナムでの事業基盤を活用し、他のアセアン地域にもサービスを展開していきます。

SGH グローバル・ジャパンは、今後もグループの強みを生かし、アセアン地域の国際貨物事業のネットワーク・サービスを拡大し、お客さまのニーズに応え、社会から必要とされる存在であり続けます。

※1 コールドチェーン：生鮮食品や冷凍食品、医薬品などを、生産地から消費地まで一貫して低温に保ったまま運ぶ物流方法。

※2 混載輸送：同じエリアや同じ方面の複数の荷物を、1つの輸送機関に積載して輸送すること。

SG ホールディングスグループは、純粋持株会社 SG ホールディングス株式会社と、その傘下にある佐川急便株式会社をはじめとした事業会社で構成された総合物流企業グループです。

<報道関係お問い合わせ先>

SGH グローバル・ジャパン株式会社 管理部

tel: 03-5857-2250 mail: sgj_pr@sgh-globalj.com